

はとやま



No.150
記念特集号
2020.11.1発行

特集 150号記念
 はとやま 過去・現在そして未来へ! 2
9月定例会報告
 54億円はどう使われた 4
 私たちは賛成・反対しました 8
 町政を問う!一般質問に9人が登壇 9
 常任委員会レポート 14

過去・現在そして未来へ!

12人の議員にアンケート

①これまでの議員活動で一番印象深かったこと

②鳩山町 これからの最も重要な課題

松浪 健一郎

ふるさと納税をしっかりと

- ①境町に視察に行ったこと。町長が違くと、こんなに町が活性化するのか。鳩山町にないもの全てがそこにあり、ふるさと納税を活用して財政面もクリアしていました。
- ②財政状況は危機的。箱物に掛かる借金と毎年の経費が財政面を圧迫し続ける。行政サービスの低下は避けられない。境町のように、ふるさと納税に取り組み、取られた税金を取り返す。倍返し?(笑)

石井 徹

一般財源の確保策を

- ①昨年の議員視察研修で、訪問した茨城県の境町の先進的な取り組みには、驚きだけでした。鳩山町でも何とかしなければの思いを抱きました。
- ②財政健全化の中でも一般財源の確保策です。企業誘致、生産年齢層の移住促進、ふるさと納税、公の施設の利活用、公有財産の処分など、一朝一夕にはできないのでスピーディに取り組むことが最重要課題。



関根 清隆

意欲的に知恵を出し合って

- ②課題としては、①財政の悪化でお金がない、②高齢化で人口は自然減少、③企業誘致できない、④空き家問題、⑤行政の弱体化(職員削減・人材・起業家精神不足)、等々。結局、課題の根源は『行政の取り組み方次第』ではないか。将来のために、町職員と議員は意識改革に取り組み、意欲的に知恵を出し合って、課題を解決する道を切り開かなければならない。

目を見張る境町の財源開拓

補助金の獲得 約8億146万円 (平成30年度)

平成26年度→平成30年度
5年間で
総額約 **25.9** 億円の補助金を獲得

太陽光発電事業 約2,033万円 (平成30年度)

約1,800~1,900万/年の収入を20年分確保できる見通し (平成28年度より全施設稼働)

ふるさと納税 約60億8,253万円 (平成30年度)

寄付額全国 **8** 位

4年連続県内 **1** 位 (平成27~30年度)

2年連続関東 **1** 位 (平成29~30年度)

企業版ふるさと納税 3億490万円 (平成30年度)

平成28・29年度合計寄付額
市町村では **1** 位
全自治体では **2** 位

例えば **1** 新しい財源の開拓

野田 小百合

自然と文化をいかして

- ①昨年12月に太陽光発電施設設置要綱にかかる請願が提出され、採択されました。本年2月には請願の趣旨を盛り込み、要綱が改正されました。住民が声をあげれば、町は変わります。現要綱では不十分ですから、さらに一緒に考えていきましょう。
- ②鳩山町の魅力である心癒やされる自然と文化を守り、まちづくりをすすめること。

小川 唯一

攻めの施策を町民と共に

- ①先進地視察研修により鳩山町の進んでいる所、遅れている所が確認できました。
- ②財源確保策・人口減少解消法として、産業のクラスター化を計り、活性化を考えていくことが必要。特に、従来のような、待ちの企業誘致策ではなく、攻めの施策を町民と考えていく。町の資源を最大限に活かし、鳩山町らしい町づくりをすること。

森 利夫

企業誘致を

- ①平成25年1月から7月に執行された入札は、最低制限価格と差が殆どなく、端数のない価格で落札されました。小中学校プール改修工事費(4校平均請負額約1億3000万円)はプラス5~10万円。中央公民館耐震等工事、中学校体育館改修工事(いずれも請負金額9000万円)はプラス10万円と20万円。
- ②町の財政が最重要課題です。歳入が増える企業誘致等を進めるべきです。

さらに議会の責務を果たせる議会に！！

議長 石井計次

昭和57年に議会だより第1号が発刊され、37年が経過し、この度150号となりました。

私は議員の政策立案力向上のための勉強会発足を提案し、取り組んでいます。

議員1人1人の更なる資質の向上と共に、議会として二代表制の責務を担ってまいります。

皆様のご協力とご意見を賜りますようお願い申し上げます。



日坂 和久

デマンド運行の充実を

- ① 鳩山町の懸案のひとつは、交通の不便さの解消です。平成21年度から実証運行が開始されたデマンドタクシーは、今では町民の皆さんに定着した公共交通になっています。デマンドタクシー運行のための協議会に参加させていただき、実現に至ったことです。
- ② 町外、土日運行の要望が寄せられています。課題は把握できていますので、早期解消・実現を求めます。

石井 計次

自主財源の確保を

- ① 令和2年3月議会では、新年度予算案の採決は賛成6、反対5と過去記憶に無い拮抗した結果でした。反対理由は多額の起債（借金）です。賛成議員にあっても新年度「全ての町事業を停止できない」まさに苦渋の選択の場面もありました。
- ② 発展的かつ持続可能なまちづくりのため、企業誘致の推進等、自主財源の確保策が喫緊の課題と考えます。

小鷹 房義

少子高齢化対策を

- ① 越生町、ときがわ町は2町での研修を行っていましたが、鳩山町も参加して、3町合同の議員研修会が発足しました。
- ② 現在、少子高齢化に向けて、どのような政策を投じ、進めていくのか。またその財源の確保をどうするか。農家への支援が重要な時。



大賀 広史

健全な財政運営を

- ① 「どうする鳩山町議会！？活性化協議会」を立ち上げ、議員が歩いて聞いた町民アンケート及び議会報告会の開催等を実施。議員定数の削減を実現、無投票にならず、結果を出せたこと。
- ② 補助金ありきでハコモノ整備を進め、財政が厳しくなるばかり。町民1人当たりが背負う借金は48万円と、5年間で10万円以上の増加。借金先送りの財政運営にモノ申す！



特集 議会だより

はとやま



中山 明美

防災・減災対策を

- ① 東日本大震災の当日、今までに経験のない揺れに驚き、近隣の無事を確認し、役場に向かいました。津波の映像に愕然とし、祈る思いで見つめていました。
- ② 台風、地震。いつ、どのような災害があるか、わかりません。防災・減災対策が重要です。「生命を守る」普段の準備・取り組みも重要と思っています。

根岸 富一郎

議会が町行政をただす

- ① 「議会改革」で「どうしたら議会と住民が身近になるか」等、他の議員と協力し、やってきました。
- ② 「議会がどうしたら町行政をただしていけるか」が課題です。私も「住民にとって議会とは何か」「町行政はどう住民の心をとらえているか」「住民の要求は何か」「どうすれば町が住みよくなるか」など、「党の議員」を増やすことと共に頑張ります。

令和2年第3回定例会が、9月1日から11日まで開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの2件、指定管理者の指定が1件、令和元年度一般会計等の決算認定が8件、令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分が1件、令和2年度一般会計等の補正予算の議定が4件、工事請負契約の変更契約の締結が1件、人事に関するもの2件、財産の取得に関するもの1件の20議案で、全て可決・認定・同意されました。議員発議が1件提出され、可決されました。請願が1件提出され、反対多数で不採択となりました。

54億円はどう使われた？



令和元年度一般会計決算を認定
上熊井農産物直売施設完成

令和元年度 一般会計決算

歳入

問 ごみ焼却施設整備の地元対策費8億円のうち、2億円が交付されたが、どの事業にいくつ充当し、事業費用の総額等、詳細について議会に報告を。

答 改めて資料を作成し、各事業の報告を行う。

問 ふるさと納税が大幅に増加しているが、実質収支はいかがか。

答 返礼品業務委託料や、町から流出してしまった税を差し引くと若干のマイナすが、一昨年は500万円のマイナスだった。令和2年度はプラスになるよう、努力する。

歳出

問 町内循環バスの利用状況が低迷している。改善点をどう考えているか。

答 デマンドタクシーで対応できるほどの利用者数だ。町の公共交通全体を考え、地域公共交通会議で協議をしていく。



利用者が減少している町内循環バス

問 電力会社は選べる時代だが、町の契約する電力会社については、温室効果ガス排出削減など、環境に配慮した選定をしているか。

答 安定供給とコスト面を重視してきたが、今後は更に環境面も配慮した契約を考えていきたい。

問 総合相談支援事業は新しく始めた事業だが、どのような課題があるか。

答 精神保健福祉士など、専門の職員を配置しているが、解決が難しい相談もある。相談者の希望をしっかりと聞きながら、改善していきたい。

問 相談者の思いを受け止め、かつ支援員の負担を軽減する町の体制が必要ではないか。

答 ワンストップで対応しているが、再相談も多く、今後も相談件数は増える予想される。関係機関や団体とも連携し、相談者とともに、解決方法を探していきたい。

問 総合相談支援窓口では課題をまとめて相談できます



総合相談支援窓口では課題をまとめて相談できます

問 学童保育委託料は、今宿小と鳩山小の2つの学童施設の保護者会に委託している。来年の4月からは亀井小に隣接して整備している、泉井交流体験エリアの中に、今宿小のおしゃもじ山クラブの分室として、亀井小の学童を開設するわけだが、準備等、開設に間に合うか。

答 保護者会では、亀井地区の分科会を設置しており、相談をしながら進めている。施設整備は、単年度の補助金を受けており、今年度内に完了予定だ。



来年度亀井地区に開設される児童交流館

令和元年度一般会計決算（歳出）

総務費	28.2%	15億2,954万円
民生費	27.5%	14億9,226万円
公債費	9.5%	5億1,440万円
土木費	9.2%	4億9,850万円
教育費	7.2%	3億9,122万円
衛生費	6.6%	3億5,795万円
消防費	5.4%	2億9,353万円
農林水産業費	3.5%	1億8,856万円
議会費	1.6%	8,498万円
その他	1.4%	7,468万円

※その他は商工費、災害復旧費、労働費などです。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

令和元年度一般会計決算（歳入）

町税	30.7%	17億6,617万円
地方交付税	22.6%	13億335万円
町債	10.3%	5億9,334万円
国庫支出金	9.0%	5億1,766万円
県支出金	7.4%	4億2,405万円
繰入金	4.3%	2億4,933万円
分担金及び負担金	4.0%	2億3,019万円
地方消費税交付金	3.8%	2億1,836万円
ゴルフ場利用税交付金	1.6%	9,182万円
諸収入	1.6%	9,008万円
その他	4.8%	2億7,756万円

※その他は地方譲与税、繰越金、財産収入などです。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

問 総合福祉センターの管理代行料は、入浴施設を休止したため、減額となったが、入浴施設を利用できなくなったことで困っている町民がいる。

答 入浴施設の休止により、大変ご迷惑をおかけしている。近隣の施設を利用されていると聞いているが、今後は休止の状況をどうするか、検討していく。

問 上熊井農産物直売施設は建物完成し、現在は外構工事を進めているが、指定管理者の応募が1件もなかったため、町は半年の延期を早々に決めた。この件について、直売施設運営検討委員会は開催したのか。

答 任期は令和元年度いっぱい。設置目的が達成されたことから、開催はしていない。

問 検討委員会と指定管理候補者を兼ねて検討すべきだったのでは。

答 委員会の設置当初は、指定管理者制度で運営するかどうかということも

検討事項だった。

問 避難行動要支援者システム保守委託料とは。

答 要支援者名簿の作成と登録情報の管理だ。

問 地域で自主防災組織を計画している町内会等に、情報提供を検討できないか。

答 民生委員とは連携をしているが、町内会等への情報提供については、法的に可能かということも含めて検討したい。

問 ため池耐震性点検調査の結果はどうだったか。

答 元年度は5箇所調査を実施し、3箇所について堤体の安全基準値を下回る結果が出ている。今後どのような対策を講じていくかを検討し、議会にも報告させていただく。



地域で防災計画を

問 県道岩殿岩井線の整備に関して、県から委託を受けて実施している用地交渉が遅れているようにだが、重郎橋の架け替えを含む道路改良工事のスケジュールを伺う。

答 用地取得に不測の日数を要している。現時点では、令和5年度の完成は難しいと考えている。

問 給食センター運営資金の取り崩しが続いているが、いずれ資金が枯渇した場合、給食費の値上げはあるのか。

答 今すぐというわけではないが、食材費の高騰もあり、いずれは考えなければいけない。その際は丁寧に説明していく。

問 昨年の台風被害で通行止めとなった町道52号線復旧工事は、6000万円もかけて復旧したのに1ヶ月で法面が崩れた。設計か施工に不備があったのか、検査に問題は今後どう対処するのか。

答 設計・施工に問題なく、検査も適正だった。これからは原因の調査を進め、議会に報告したい。

相変わらず町民の生活や暮らし向きは悪く、社会保障のための消費税も思うように入ってきていない。そんな中でも障がい者福祉はきめ細やかな施策を望む。休止している入浴施設が使えず、町外の施設を使用している町民に補助を検討していただきたい。上熊井農産物直売施設の運営については運営する業者、地元農業者を交えて進めるべきだった。（根岸）

決算審議は、町の事業が適切かつ有効に実施されたかどうかを検証するもの。建築確認の遅れにより泉井集落センターは年度内に完了できず、ニュータウン・ちのき通り等の歩道整備も完了できなかった。町の報告書には事業の改善点がほとんど示されておらず、反省がないので、次年度予算に活かされない。身の丈を超えた財政運営にも問題がある。（大賀）

〈反対討論〉

令和元年度 特別会計決算

国民健康保険事業

問 国保税は平成29年度に引き上げすぎたせいで、不用額が生じているのではないか。

答 県の基準に合わせて計算して上げた経緯がある。保険事業等をしつかり実施しているので、交付金が増えている。

介護保険事業

問 基金額が3億円以上ある。保険料を下げるべきではないか。

答 次期の高齢者福祉総合計画を策定する際に、委員の意見を聞きながら決定していきたい。

〈反対討論〉

令和元年度から低所得者に対する保険料軽減が始まった事は評価できる。介護保険料は、他市町と比較すると、少し低いとは言え、基金3億円は貯めすぎ。すぐにも保険料を下げるべき。(根岸)

令和元年度特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の状況

名 称	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
国民健康保険事業	20億83万円	18億9,891万円	1億192万円	
後期高齢者医療事業	2億3,932万円	2億3,859万円	73万円	
介護保険事業	12億7,860万円	12億1,747万円	6,113万円	
今宿東土地区画整理事業	1億1,521万円	1億1,461万円	60万円	
農業集落排水事業	4,012万円	3,966万円	46万円	
浄化槽設置管理事業	2,185万円	2,017万円	168万円	
水道事業	損益収支(税抜き)	2億6,694万円	2億6,518万円	176万円
	資本的収支(税込み)	79万円	6,379万円	※1 △6,300万円



※ 金額は万円未満四捨五入
※1 過年度からの留保資金などで補てんされました。

条例の改正

職員の特殊勤務手当の一部改正

問 新型コロナウイルス感染症に係る防疫作業に従事する職員の特殊勤務手当の制定。

答 作業する職員に資格が要るのではない。

問 要件は改正していない。

答 長時間とあるが、時間の基準は。

問 基本的には1日の手当である。

税条例の一部改正

問 主な改正は、たばこ税の改正。葉巻たばこ1本を紙巻たばこ0.7本と算定する。

答 増税ではないか。

問 紙巻たばこの代替品として販売量の急速な増加で、1本1グラム未満の葉巻たばこの課税方式の見直しであり、段階的に増税となる。

コミュニティマルシェ 指定管理者の指定

問 指定管理者に引き続き、株式会社アール・エフ・イーを指定する。

答 今年度の管理料が380万円から563万円に大幅増額になっているが、その理由は。

問 これまでの実績値により150万円の増額見直しをして募集した。

答 空き家バンク業務について、今後の取り組みは。

問 指定管理者が宅建業の資格を得てサポートを考えている。

令和2年度一般会計 補正予算

問 防犯カメラ設置工事に約206万円を計上しているが、現状における盗難等の被害状況は。

答 過去2年間において、空き巣が25件と多く発生しているが、比企管内では2番目に犯罪の少ない自治体である。

問 3ヶ所の設置だが、

問 どこに設置するのか。

答 亀井小学校南側の町道1号線の交差点、今宿交差点、ふくしプラザ前の交差点に設置する。

問 財政調整基金の積立金が約7984万円あるが、地方交付税の確定によるものなのか。

答 普通交付税の新たに加わった算定項目により、全国平均の様々な年齢層からの比率を出し、平均を上回った人口減少等が進んでいる団体に割り増しされた。鳩山町は約7552万円が算定され、交付額が大きく伸び、財政調整基金に積み立てた。

問 交付金を住民要望に回す考えはないのか。

答 住民要望も踏まえて各課から予算要求を受けた上で実施した。また、コロナウイルスの影響により国や県の各種交付金が例年通り交付されないケースを想定して、余剰額がある時に積み立てを行っておきたい。

問 学校休校中の学童保育の開所で、補助が増額されているが、学童内で

の密を防ぐ国からの指示はなかったのか。

答 業務委託料370万円は、学校休校中の補償の補助である。別に国からのコロナウイルス対応の消耗品等を購入する補助があり、保護者会で現場の実態に応じて購入してもらおう予定である。

問 学童保育所の広さは十分か。

答 おしゃれもじ山クラブは児童数が多少多いが、来年度、泉井に分室を造る予定であり、十分な広さを確保できる。

問 スクールサポートスタッフ配置事業補助金約1228万円は会計年度任用職員の報酬とと思うが、契約は何年間か。

答 来年の3月31日までの単年度の契約である。

令和2年度国民健康保険 特別会計補正予算

問 基金積立金の今年度末はいくらか。

答 3億4200万円と見込んでいる。

問 基金が3億円以上あ

り、被保険者の減少により、医療費も減少している。国民健康保険税の引き下げはできないか。

答 今後の見通し、近隣の市町村とのバランスや県の標準保険税率を鑑みて検討するが、コロナ禍の影響で先が見通せない。少額の改定を考えている。

令和2年度介護保険特別会計補正予算

問 介護保険積立金を約3170万円増額しているが、介護費用の状況は。

答 介護給付費は、平成30年度から令和元年度で7000万円増えている。

問 その状況でも基金は3億円を下っていないが、保険料を下げる検討はするの。

答 一般介護予防の取り組みなど、新たな事業を今後検討したい。

工事請負契約の締結 町道第2059号 線外歩道整備工事

問 昨年度の補正で8000万円の予算現額だが、当初予算額7000万円です。実施できたのか。

答 約686万円です。実施できた。

問 結果として当初予算内に収まったが、1000万円強の残額の処理は。

答 執行残として処理する。

〈賛成討論〉

当初予算内で収まり、執行残についても適切な処理をするということ。賛成。今後も当初契約通りに履行されるよう努力していただきたい。(大賀)



とちのき通り バリアフリー歩道整備

請願 不採択 障がい者支援に関する請願

(要旨) それぞれの精神障がい者の実情に基づいた指導ができるよう充実した障がい者の計画を望む。(理由)

町職員等の対応で、本の出版、コンサートの出演等で、本人の本意でない方向に導かれてしまうことにより、ストレス過多になり、体調不良を生み出した。そこで担当課に令和3年3月31日までに「何を」「どうするか」などの具体化をお願いしたい。(要約)

障がい者福祉計画では、精神障がい者の施策指導は進んでいない。請願理由の、本人が望む活動を止めるのは人権問題であり、行き過ぎと考える。町の障害者福祉計画には本人の意思を尊重する指導を提案する。(根岸)

〈賛成討論〉

議員発議 意見書を採択 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大で甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、地方自治体はかつてない厳しい状況が予想され、財政運営に必要不可欠な、地方交付税をはじめ、地方税収の安定した対応を求める。特に固定資産税の見直しは断じて行わない、また特例処置も今回限りの処置とすることを求める。(一部省略)

〈反対討論〉

町の財源確保で地方の新税等は住民負担になる。また、この意見書では消費税増税に結び付くので、国は予算の組み替え等で地方交付税を確保すべきであり、反対である。(根岸)

財産の取得 GIGAスクール事業に向け、小中学校に情報端末機器の導入

問 本体が4万5000円なのに総額10万8000円の内訳は。

答 5年分の物損保険、教育クラウドがパッケージで含まれている他、設定の役務費も含まれている。

問 入札で応札1社、辞退12社になった原因は。

答 全国で同じ様な契約者が少なくなくなったため。

問 受入検査はどのようなものか。

答 納入業者が1台毎に検査し、合格機器の一覧を提出させ、町ではこの表をもとに、抜き打ち検査を実施して確認する。

第1回臨時会 8月7日、一般会計補正予算及び水道事業補正予算の2議案を審議

一般会計補正予算 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億2182万円を追加し、総額を78億9487万円とする。

問 地方創生臨時交付金の申請を7月31日までの先行受付に提出したのか。

答 事業執行が遅れてしまったので提出した。

問 臨時会の意味がないのでは。

答 早期の補助金確保のため、今後の必要事業の変更も可能。

水道会計事業補正予算

令和2年8月から令和3年1月までの6か月間、基本料金を減免する。

臨時会 主な補正予算

- <歳入>
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1億8611万円
- <歳出>
 - ・小中学校GIGA(ギガ)スクール事業 8367万円
 - ・水道事業減免費補填 4125万円
 - ・小中学校特別教室エアコン整備 1432万円
 - ・防災備蓄品整備事業 943万円
 - ・小規模企業経営資金利子補給事業 500万円



教育委員会委員の任期満了に伴い、山口尚人氏（松ヶ丘在住）の再任に同意しました。

山口 尚人氏
教育委員会委員に



公平委員会委員の任期満了に伴い、坂本恵子氏（竹本在住）の選任に同意しました。

坂本 恵子氏
公平委員会委員に



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

令和2年第3回定例会 議案		議員氏名										審議結果			
		関根清隆	石井徹	中山明美	日坂和久	小鷹房義	森利夫	松浪健一郎	小川唯一	野田小百合	根岸富一郎		大賀広史	石井計次	
町 長 提 出	職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	鳩山町コミュニティ・マルシェの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	議	認 定	
	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認 定	
	令和元年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	令和元年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	令和元年度浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	認 定	
	令和元年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和2年度一般会計補正予算（第5号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和2年度介護保険特別会計補正予算（第1号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	令和2年度水道事業会計補正予算（第3号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	工事請負契約の変更契約の締結（町道第2859号線外歩道整備工事）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
財産の取得（鳩山町立小・中学校情報機器端末）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議	原案可決		
請願	障がい者支援に関する請願	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	●	議	不採択	
議員提出	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
令和2年第1回臨時会 議案															
町長提出	令和2年度一般会計補正予算（第4号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和2年度水道事業会計補正予算（第2号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

1. 待ったなし!空き家対策と移住推進政策提案
2. 地方創生拠点整備交付金について
3. 農村公園の有効利用(観光農園化等の提案)
4. 施設予約システム導入提案

石井 徹 議員

1. 新型コロナと教育行政
2. 新型コロナによる「新しい生活様式」の実践を進める上で
3. 企業立地について

大賀広史 議員

1. 子育て支援(ファミリーサポート事業)
2. 北部地域活性化事業の進捗
3. 町長の4期目の公約について

森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. 企業誘致について

日坂和久 議員

1. デマンドタクシー運行の利便性向上のため、各関係機関等と具体的な交渉・協議をおこない、課題の解消をしていく必要があると考えるがいかがか

根岸富一郎 議員

1. 少人数学級について
2. 難聴と高齢者の引きこもりについて
3. 粘土質土壌で農業振興を

野田小百合 議員

1. 気候変動対策を
2. 図書館について
3. 子宮頸がんワクチン接種について

中山明美 議員

1. 避難所対策について
2. インフルエンザワクチンの接種を
3. 緊急時通報システムの拡充を

小鷹房義 議員

1. 鳩山町上熊井農産物直売所について



関根 清隆 議員

空き家対策

リモートワーク移住推進を

土地・空き家の物件少。政策課題

問 鳩山町は、自然も豊かで首都圏に近く、リモートワーク移住に適した立地だ。現在の移住政策はどうか。現在の移住政策はどうか。現在の移住政策はどうか。

答 平成29年度より「ミニユニティ・マルシェ、空き家バンク等」を推進し、約3年間で町外からの移住者は都内から1件、ときがわ町から1件となっている。子育て世代や若い世代へアピールするため、移住者やRFA社の活動を通して、各種イベント、SNS・動画での情報発信を強化してきた。

問 有楽町駅前の「ふるさと回帰支援センター」へ入会し、移住推進パンフレットなどを設置し誘導を願いたい。

答 指摘と同等の「JON-1」の会員となつて、移住推進を行っている。

問 移住するためには土地や家が必要だが、空き家対策はどうか。群馬県中之条町では、町外からの移住にリフォーム100万円、子ども加算、夫婦年齢加算があり、空き家取り壊し



長年放置された空き家、その一例

には最大70万円補助が出る。補助金と子育て支援や福祉を含めた総合的な政策立案をすべきでは。

答 空き家対策としては、「特定空き家」の判定基準が未確定。また、今後推進するために、町の組織改正と合わせて、検討事項とする。

問 農村公園の有効利用について、①観光フルーツパーク化、②ドローン練習場を提案する。

答 ①②は農村公園の目的外利用となり、また②については、安全性を考慮する上で難しい。

問 廉価な施設予約システムを2例提案する。

答 他自治体を調査し、高額であり見送ったが、提案システムについては今後、検討したい。

企業立地計画

今宿仮宿地区への課題は

4つの大きな課題解決が必要



石井 徹議員

企業立地について

問 6月議会後に、今宿仮宿地区に、進出希望事業者の説明を受けたが、8月の全員協議会では、その事業者が早々に撤退したと報告を受けた。その理由を町長に伺う。

答 町では進出事業者の公募を行う際に、立地の検討に必要な情報を提供したが、都市計画法第34条12号区域指定がされていない、かつ埋蔵文化財発掘に関する期間や費用が膨大で、事業者の進出が厳しくなった。

問 仮宿地区の今後の対応で、この2点の課題解決、更には地権者との交渉、立地事業者への奨励金の提案等、4つの課題解決が必要と考える。併せて担当課の業務範囲の改善も必要な課題と考えるが。

答 一番大きな課題は地権者の状況。この最大の課題を含め、複数の課題に考えて取り組んでいく。

新型コロナと教育行政

問 コロナ禍でのGIGAスクール構想の早期推進で小中学生全員に情報

端末を配備する計画だが、教育現場での十分な対応は可能か。

答 当初は令和5年までの整備計画で、2年前倒しの整備ではあるが、教職員の研修、各学校で有効活用できるよう教育委員会として支援していく。

新しい生活様式の推進

問 マイナンバーカードの今後の有効な活用方法は。

答 健康保険証として、更には住民票等がコンビニ交付可能になる。

問 庁用バスの利用状況は。

答 8月まで利用はない。コロナの状況次第だが、しばらくは公的使用のみ。



GIGAスクールイメージ

北部地域活性化事業

事業の検証・改善点を報告せよ

資料等を作成し、提示する



大賀 広史議員

ファミリーサポート事業

問 子どもたちの送迎などを町が有償で行う事業、来年度から実施するのか。

答 会議で検討を進めるが、来年10月頃までに開始できればと考えている。

いるにも関わらず、執行部は誰も責任を取らず、反省もない。計画の検証と改善点を作成し、報告書の提出を強く求める。

北部地域活性化事業

問 町道1号線整備事業は、第1期計画の予定では完了しているはずだが。

答 全長1400メートルのうち、590メートル完了した状況だ。

問 計画では全工区整備で、4億7000万円。

答 現時点での支出額は、3億7000万円。

問 補助金見込み額は2億8500万円だったが。

答 第1工区で使ってしまったが、5300万円。

問 上熊井農産物直売所は指定管理者が決まらず、

来年4月の開始を早々に断念、半年以上延期した。

6月議会の際、間に合わせるかと断言していたが。

答 意を決して答弁したが、コロナ禍もあって、

苦渋の選択をした。

問 ここまで、予算と工程が大きく計画とずれて

は、第1期計画の予定では完了しているはずだが、全長1400メートルのうち、590メートル完了した状況だ。計画では全工区整備で、4億7000万円。現時点での支出額は、3億7000万円。補助金見込み額は2億8500万円だったが、第1工区で使ってしまったが、5300万円。上熊井農産物直売所は指定管理者が決まらず、来年4月の開始を早々に断念、半年以上延期した。6月議会の際、間に合わせるかと断言していたが、意を決して答弁したが、コロナ禍もあって、苦渋の選択をした。



PDCAによる計画検証を!

森 利夫 議員



企業誘致（仮宿地域）

立地誘導に必要な区域指定は

県との調整は進んでいない

上熊井農産物直売施設

問 指定管理者の募集を行ったが、応募者がいなかった。再募集と管理開始の予定はいつか。

答 再募集は本年11月中旬までに行う。管理開始は令和3年10月頃を予定している。

問 建物が完成して長い間使用しないと、不具合が生ずる。対応は。

答 建物及び外構の管理は、除草等を含めて職員が行う予定。各種設備の不具合は生じても、使えなくなることはない。

問 結局は応募者がいなかった。少し甘く見ていたようだが。

答 一部見直しを含めて検討する必要がある。

企業誘致（仮宿地域）

問 県に区域指定の申し出をするための、土地利用に関する計画書等は、出来上がっているのか。

答 現時点では作成していない。

問 申し出に先立ち、地元住民への説明会等は終えているのか。

答 現時点では終えていない。

ない。県との事前協議を進めていく中で、住民説明会の開催や、都市計画審議会に諮問をする。

問 都市計画法34条の12号指定を受けるための手続きが、何も始まっていないと思える。近隣の自治体では、この区域指定を受けている場所に、企業を誘致している。同じ条件で企業誘致を進めるべきと思うが、町長の見解は。

答 今宿仮宿地区への企業誘致の課題が鮮明になった。複数ある中で最初にやるべきは、12号指定と考える。取り組んでいきたい。



地主の大部分の方が企業誘致を望む仮宿地域

デマンドタクシー

経路追加であれば町外運行可能か

法的に可能。後は運行業者の理解

日坂 和久 議員



問 につさい地区までの町外運行は、乗降ポイントの追加（経路追加）の手法を取り入れてはどうか。町内からポイントまでダイレクト運行で、町民のみ利用可能。につさい地区にいくつかのポイントを設置。また、ニュータウンからのバス路線が廃止になっていくため、その代替交通として位置付けても、他に競合する交通機関はなく、支障はない。

答 乗降ポイントの追加（経路追加）であれば、実現の可能性は見える。坂戸市や坂戸の事業者には説明する必要があるが、同意書等の文書の取り交わしは不要だ。町の公共交通会議で協議が整えばそれで良い。

問 土・日運行は受付が課題ということだ。しかし、キャンセル等については、予約センターが業務時間外でも運行事業者で扱っている。当面は土・日の予約を金曜日までに受け付けておくことで対応できるのでは。

答 当面は金曜日までに受け付けておくことで対応できるのでは。

受け付けておく方法も考えられる。先々は当日予約の要望が予想されるので、検討の必要がある。

問 町外運行、土・日運行を実現するには、運行経費等の増額が必要になる。どのように捻出するのか。

答 町全体の公共交通を見直し、収支率が悪化している交通機関の運行縮小や、費用のシフトも検討。

問 経路追加の運行であれば法的に問題はないが、各交通事業者から理解を得ておくことが重要では。

答 法的には問題ないが、事前に説明し、円滑な運行を目指す。



今後、町外・土日運行の必要度調査が行われる

根岸富一郎議員



少人数学級

学級編制基準が変われば

県費の教職員は基準により増える

少人数学級について

問 鳩山町は、今小6年生と鳩中2年生ですすでに1学級35人以下の少人数指導を行っている。教員の配置はどのようにしているのか。

答 1学級増えると、町費の教職員を1人増やすことになるが、担任はできない。

問 学級編制の基準が変わると教職員も増えるか。

答 学級編制の基準以上の学級人数に1人の教職員が増えることになる。

問 町独自の少人数学級指導のメリットで、充実した学習活動や、安定した学級活動の実現とは。

答 教職員が1人1人に目が行き届き、指導もしやすいということだ。

問 教室の広さの基準は64平方メートルだが。

答 今のコロナ禍で、国からの通知通りに子どもと子どもとの距離を開けると、40人学級は明らかに矛盾がある。

問 長期休業や夏休み等での影響は「1年間の授業時間を確保しなくては

ならない」と考えているのではないか。

答 「卒業していく学年」もある。「その1年間で確保する」方法をとっている。

難聴と認知症について

問 民間の補聴器を一定期間無料で貸し出す、訪問活動についてどう考えているか。

答 業者の信頼性など検討したい。

問 補聴器でも磁器ループを使うと「音が良く聞こえる」ことについて、どう考えているか。

答 磁気ループの有効性等の「説明の機会」をつくりたい。



少人数学級を

太陽光発電施設

要綱を条例化しないか

先進的な要綱を作る方策もある

野田小百合議員



問 最近の相談件数・届出書の提出状況は。

答 相談件数は8月28日現在30件。奥田・竹本・熊井地内で20件。小用・大豆戸・赤沼・石坂地内で10件。事前相談届出の提出は、同日現在6件。

問 回覧による説明の実施について、誰がどのように決めたのか。

答 町は、新型コロナウイルス感染症リスクを回避するため、集会方式以外の会議の開催を実施。町の考え方と地域の考え方が一致した。

問 鳩山町が悪い前例を作るのか。説明会すら開催せず、十分な資料も根拠も示さず、安心安全と事業をすすめてよいのか。

答 コロナ禍の中で集会方式の説明会を強いることはできない。

問 施設設置に関する必要な情報を、行政の責任として、住民に知らせる必要があるのではないかと。

答 何も分らないで説明会に臨むのではなく、問題に気づくために有効。町としても検討する。

問 条例化について、町長はどう考えるか。

答 昨年、担当に検討を指示した。全国の先進的な要綱を積極的に取り入れる中で、鳩山町独自の要綱を作る方策もある。

ごみ減量

問 キエーロの実証実験に取り組まないか。

答 ごみ減量化に有効と感じる。今後の課題である。

図書館

問 本の宅配サービスの取り組みは。

答 身体障がい者等への宅配サービスについて、検討したい。



土で生ごみを分解するキエーロ（鶴ヶ島市HPより）

中山 明美 議員



コロナ対策

インフルエンザワクチンに助成を

見極めながら考えたい

問 コロナ禍の混乱を避けるために、インフルエンザワクチンを希望する人に、接種の助成をしてはいかがでしょうか。

答 予防接種法に基づかない任意接種であるため、町は個人の接種状況について管理していない。国の方針や専門学会からの見解などの動向を踏まえて、町でも必要な対応を決定し、実施していく中で、インフルエンザワクチン予防接種への助成についても考えていきたい。

問 高齢者のインフルエンザ予防接種の状況はいかがか。

答 予防接種法に基づく定期接種のB類疾病に位置づけられる。65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で特定の障がいがある方を対象として、鳩山町の自己負担額は1500円で実施している。

問 緊急事態宣言で休校になり、6月からやっと授業が始まった生徒・児童にも助成をできないか。インフルエンザが流行すると学級閉鎖もあるかも

接種方法(費用助成の受け方) ※費用助成は鳩山町独自の取組です

対象者①の方	対象者②の方
<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の方 60歳以上の基礎疾患(糖尿病、高血圧、慢性腎臓病)を有する方 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦 基礎疾患を有する方* 生活介助者(介護士等) 高齢者施設職員
<p>【接種期間】10/1～1/31</p> <p>① 予約を受け取る ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>② 市内の指定医療機関に予約する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>③ 指定医療機関を受診する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p>	<p>【接種期間】10/25～1/31</p> <p>① 医療機関に予約する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>② 医療機関を受診し、一旦、金額を支払う</p> <p>③ 接種センターに集まる ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>④ 接種料を返金してもらう ※返金は、接種開始後1週間以内に受け取る。</p>
<p>自己負担 1,500円が 0円</p>	<p>自己負担 接種料2,000円が 0円</p>

65歳以上・15歳以下、今年度接種無料に

しれない。受験生の不安を少しでも解消できたらと思うが。

答 インフルエンザワクチンの供給体制や、コロナウイルスの感染状況による医療機関の体制整備などに基づいて、また、国・県、近隣自治体など様々な状況を総合的に判断して考えたい。

問 国の第3次補正予算では、助成の対象にならないか。

答 ワクチンがどれほど確保できるのか、3次補正がどういった性格の補正になるのかということも見極めながら、一つの可能性として追及してみたい。

小鷹 房義 議員



北部地域活性化

上熊井農産物直売所の開設時期は

来年の4月1日には間に合わない

上熊井農産物直売所について

問 直売所が計画された経緯を伺う。

答 平成25年12月に北部地域活性化基本条例を制定し、平成27年11月には上熊井地区活性化取組方針が策定され、その中で農産物直売所整備事業が産業振興対策として位置付けられた。

問 場所、交通量調査、進入路、集客の見込みなどは、どのように決められたのか。

答 場所は、駐車場を含めて一定規模の用地確保が必要。交通量は県の調査で一日当たり4千台。進入路は、警察協議により決定した。集客は、年間12万人と見込んでいる。

問 地元と町との話し合いで、どんな意見があったか。

答 人口が減少し営農組合もないため、今後を見通した農業の高収益化等の検討が必要ではないか。個人でも企業でも、農地を利用してもらいたい。直売所でなにを販売して



オープンはいつに

いくのか。今後の運営等も含めて検討が必要等。

問 来年4月1日に開所予定だったが、なぜ遅れてしまったのか。

答 募集期間内に応募団体がいなかった。応募する際の課題に、コロナウイルス感染症の影響があった。今後は、町が提示する指定管理料の増額も考える。

問 直売所周辺整備も必要ではないか。

答 上熊井地区活性化協定書にもあるが、地元の意向により、辻川の周辺整備を進めていく。

問 直売所内に、アンテナショップを開設できないか。

答 現在、良品計画に打診している。

常任委員会レポート

総務産業委員会

両地区の集落センターが完成

令和2年8月4日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

①泉井・上熊井両集落センターの運営について

これらの施設は、ごみ焼却場の地元対策費を活用して、地元との協議によって整備しました。具体的な管理及び使用に関しては、両地区と本協定を締結します。

これらの施設は「町が所有し、無償で地元へ貸し出す」ものです。町の負担は、防火管理者と火災保険です。地元の負担は、経費的なものです。



上熊井集落センター

経年劣化などの修繕は、コミュニティ施設特別整備事業補助金交付要綱で対応すること。泉井の施設は、太陽光発電の収益があります。また、農業集落排水に接続されて、使用料は光熱費に含まれます。上熊井の施設は、浄化槽があり、維持管理費に含まれます。



泉井集落センター

②太陽光発電設置の規制条例の進捗について

埼玉県日高市、群馬県高崎市、宮城県丸森町の設置状況3例を調査しました。

町の景観保持や総量規制も考えているが、まず、事業者の合法的な経済活動を認め、売り手の立場など考える必要があります。また、規制した場合、町の訴訟リスク、訴訟費用等の調査を進めたい。これからも地域住民への丁寧な説明をするよう、事業者等に指導します。

今、担当としては、日高市の裁判の状況などを静観しているので、日程的な点は決めていません。

福祉文教委員会

各種事業 再開へ

令和2年8月5日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

①小中学校の児童・生徒の体力、学力の現状と課題について

今年度、埼玉県学力・学習状況調査は、自治体ごとの任意での参加となりました。鳩山町は、児童・生徒の学力の実態、一人ひとりの伸びを把握

するため、参加しました。個々の学力を伸ばすために、コバトン問題集の活用、学び合い学習の推進、中学校の英語教諭が小学校の授業指導・交流等に組み込んでいくそうです。体力面を新体力テスト(2019年度)でみると、県の平均を超え、特に中学校は顕著です。

小学校は運動会を中止とし、代替として記録会を秋に行う予定。中学校は、6月の学総大会も中止になり、体育的行事がないことから、ぎりぎりまで、体育祭実施の最終的な判断を待つそうです。

②コロナ禍における高齢者・障がい者の健康・福祉の取り組みについて

保健師により、3月末に町内の介護保険施設11施設に直接出向き、感染管理体制、また、利用者の健康管理、平常時の対策、介護・看護ケアと感染対策における全31項目について、各施設の現況調査を行いました。

再開に当たり、サロン会場では3密の状態にならないように、ソーシャルディスタンスの確保や入室時の手指洗浄や健康



チェックなどをしていきます。また、室内換気のために空気清浄機の設置を進めています。

地域健康教室の再開に当たっては、健康づくりサポーターの会と検討し、8月3日より新たな形で再開するとともに、7月上旬に、保健師による電話や訪問等を通じて、個別の相談に応じながら、再開等に関する情報提供などを行っています。



安心して集まることができるよう

一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

坂戸地区衛生組合

8月6日、第2回定例会が開催されました。

提出された議案は、埼玉県市町村総合事務組合の規約の一部変更について。内容は鴻巣行田北本環境資源組合を彩北広域清掃組合に改めること。令和元年度一般会計歳入歳出決算認定の2議案で、2議案とも慎重審議の結果、可決認定されました。

埼玉西部環境保全組合

8月7日、第2回定例会が開催されました。

令和2年度一般会計補正予算の増額の主な理由は、高倉クリーンセンターの設備修繕で、補完的に使っていた1号炉の

緊急修理のためです。

(仮称) 鳩山新ごみ焼却施設建設工事にかかる建設請負変更契約の締結は、工事予定地内にある町道の廃道手続きが完了していなかったために、工事着工が遅れたことによる工期の延長請求がありました。

全議案とも全会一致で可決、認定されました。

西入間広域消防組合

7月22日に臨時会、8月18日に第2回定例会が開催されました。

臨時会に提出された議案は、条例改正2件、規約変更1件、財産の取得5件で、いずれも全会一致で可決されました。なお、鳩山町長の副管理者就任の報告がありました。

定例会に提出された議案は、補正予算1件、決算認定1件でした。

補正予算では、新型コロナウイルス感染症予防対策による感染防止衣、

ゴルフ等の購入、消防車両の修繕による需用費432万2千円の追加になりました。

提出された2議案とも全会一致で可決、認定されました。

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

8月17日、第2回定例会が開催されました。

提出された議案は、条例の一部改正、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更、令和元年度下水道組合事業決算認定の3件で、全て原案の通り可決されました。

昨年の台風19号にて大きな被害を受けた鳩山第2中継ポンプ場の修繕について、令和元年度は緊急工事に946万9900円、令和2年度は本復旧工事に6875万の合計7821万9900円の工事費用で復旧にあたります。

同様な被害を被らないために、防水パネルの設置も計画されています。

広域静苑組合

8月3日、第2回定例会が開催されました。

報告で、平成29年度より進めてきた斎場の建設は終了、事業費の総額は32億円でした。

認定第1号、令和元年度歳入歳出決算については認定されました。次に、斎場の利用状況について報告がありました。

平成30年度1887件のうち、鳩山町は155件、令和元年度2240件のうち、鳩山町は179件でした。

また、負担金割合の変更及び静苑組合議会議員定数と配分について、本年度中に決定したいとの説明がありました。



令和元年度一部事務組合の決算状況

※万円以下は四捨五入

名称	歳入額	歳出額	町負担額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	2億6,516万円	2億3,752万円	2,524万円	4,500万円	3,001万円
埼玉西部環境保全組合	31億8,725万円	31億1,106万円	1億9,859万円	18億8,620万円	18億8,660万円
西入間広域消防組合	13億7,258万円	13億5,066万円	2億8,154万円	6億6,186万円	4,056万円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	収益的収入(税抜) 16億3,281万円 資本的収入 4億1,140万円	収益的支出(税抜) 15億4,573万円 資本的支出 7億5,156万円	1億3,149万円	52億79万円	0
広域静苑組合	7億5,820万円	7億4,754万円	782万円	14億9,808万円	779万円
合計			6億4,468万円	92億9,193万円	19億6,496万円

※毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合は、令和元年度から地方公営企業法を一部適用しているため、歳入・歳出の表記が異なります。

議会クイズ

●正解者の中から抽選で、お二人に町の特産品を差し上げます。
●クイズの正解と当選者の発表は、次号の議云だよりに掲載します。

149号の当選者お二人
おめでとうございます
○松ヶ丘 細野美智代様
○大豆戸 藍 順子様

★前号の答え
① イ ② □ ③ □

応募方法

はがきに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入してください。
議会に対してのご意見・ご感想などもお聞かせください。

（あて先）

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局クイズ係

（締切）11月20日（金）
（※）当日消印まで有効

ぜひ奮って応募ください。お待ちしております。

問題1
議会だより第1号が発刊されたのはいつ
① S 47 ② S 57 ③ H 7

問題2
令和元年度一般会計歳出決算額は、いくらでしょうか
① 35億円 ② 45億円 ③ 54億円

問題3
水道基本料金の減免期間は、何ヶ月ですか
① 3ヶ月 ② 6ヶ月 ③ 12ヶ月

※ヒント ページ

ご意見・ご感想をいただき、ありがとうございます

〈傍聴アンケートより〉

●企業誘致は、税収増のためにも最大の課題だと思います。積極的に行動してほしいと思います。指摘だけでなく、結果を残してほしいです。検討するには、いつまでか期間を設けて欲しい。
●いろいろな質問に真剣に答えていた点、感心しました。

●住民の「想いはどのよう」に反映されているか」ということをよく考えます。一方的な説明を聞くだけでは、なかなか理解することはむずかしいと感じています。
●住民と役場の人たちとのコミュニケーションをどうとるかというテーマでもあります。

9月議会傍聴者数 16人

●今後も活発な議会運営を期待します。「質問時間」が少なすぎます。もう少し時間を多くして充実した議会にして欲しいと思います。

●8月2日付の新聞に九州豪雨救援募金に鳩山中学校より、6万4830円もの募金があったと報じられていま

た。コロナ禍での大変な中、取り組みしてくださった先の方、それに子ども達に頭が下がります。すばらしいですね。

☆いただいたご意見は、担当課へお伝えいたします。

☆議員は、住民の皆様及び町職員とともに、より良いまちづくりと問題解決に取り組んでいきたいと思っております。

編集後記

議会だより150号発行の運びとなりました。

ここまで編集に取り組んでこられた、先輩議員の皆様への敬意を表します。編集には苦勞が多く、意見も多様なため時間がかかりました。

町民の皆様は手に取って読んでいただき、議会の活動を知っていただくきっかけになればという気持ちで取り組んでいます。

町を歩いて、町民の皆さんから「議会だより、読んだよ」なんて声をかけていただいたり、ご意見を伺えれば、うれしく思います。

（関根）

第150号編集委員

- 委員長 大賀 広史
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 小野田 小百合
- 委員 日坂 唯久
- 委員 石井 和久
- 委員 関根 清隆

次回12月定例会は12月1日（火）から開催予定です

● 請願・陳情は11月20日17時まで提出してください。

● 議会ホームページから音声配信をしています。

● 音声配信速報版は翌日（休日を除く）から配信されます。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます

